

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	システム工学実験第三		
英文授業科目名	Systems Engineering Laboratory III		
開講年度	2004年度	開講年次	4年次
開講学期	7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門共通科目-必修科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	T全教官		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
2004年度世話人：山本 大屋	

<b>【主題および達成目標】</b>
本学科に属する各講座において卒業研究を進める上で必要となる実験技法、計算技法、解析技法、表現技法を身につける。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
コンピュータリテラシー、基礎プログラミング、情報リテラシー、システム工学実験第一、システム工学実験第二

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
特に指定しない。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
配属された研究室において、卒業研究指導教官の指示に従い、卒業研究を進めるに当たって修得しておくべき基礎事項を、実験を通して体得する。言い換えれば、実験内容は、システム工学実験第一、第二で履修した課題の中で特定の分野をより深く、各研究室での研究につながるように工夫したものである。具体的な実験内容は研究室毎により異なる。例えば、コンピュータを用いた図形画像処理、シミュレーション、数値解析が挙げられ、処理結果は情報メディアを通して、わかりやすく表現する技法について実習を行う。

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

<b>【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】</b>
----------------------------------

レポートにより評価する。各専門分野の課題の原理を理解し、説明できる。
------------------------------------

<b>【オフィスアワー：授業相談】</b>
-----------------------

配属された研究室において、各卒業研究指導教官の指示に従う。
-------------------------------

<b>【学生へのメッセージ】</b>
--------------------

卒業研究および発表の基礎技術ですので、しっかり取り組みましょう。
----------------------------------

<b>【その他】</b>
--------------